社会	第２学年	安芸太田町立加計中学校	指導者　岡村　修二

単元名

日本の諸地域　「近畿地方」

本単元で育成する資質・能力　コミュニケーション能力，主体性・積極性

１　単元について

（１）生徒観

本学級の生徒は普段の授業をまじめに受け，活発に発言する場面も多く見られる。一方で，地理的事象や歴史的事象について文章でまとめることに課題が見られる。このことは，２学期中間試験で出題した問題の回答結果からも見えてくる。「なぜ，伊藤博文が憲法草案を作成するにあたり、プロイセンの憲法を参考にしたのか説明しなさい。」という問に対して，正答は３人（１６％），誤答は１３人（６８％），無回答は３人（１６％）であった。誤答の多くは，その内容に対する知識を身に付けていないと考えられるものであったが，それぞれの事象に対する関係を結びつけて説明できていない回答も多かった。したがって授業では，基礎的・基本的な知識の習得を図るとともに，自分の意見や考えをグループ内で共有させ，自分の考えを文章でまとめられるようにしていくことが必要である。また，スモールステップを意識して段階的に指導をしていくことが，大切であると考える。

次の表は，近畿地方における地理的分野・歴史的分野の既習内容と近畿地方に対するイメージに関するアンケート調査の結果である。

①	近畿地方の府県名を白地図へ記入しなさい。	全て答えられた：８名 いくつか誤答があった：１名 いくつか無答があった：８名（８名とも誤答もあり）
②	７１０年に奈良県につくられた都を答えなさい。	正答：８名 誤答：４名　　誤答例（平安京） 無答：５名
③	７９４年に京都府につくられた都を答えなさい。	正答：８名 誤答：６名　　誤答例（平城京，京，京都都） 無答：３名
④	あなたがもつ，近畿地方のイメージを答えなさい。	・琵琶湖がある。　・清水寺や金閣寺がある。 ・古墳がある。　・奈良の大仏。　・多くの人がいる。 ・商業が盛んで観光客が多い。　・商人の町。 ・多くの芸人がいてにぎやか。　・虎柄の服。 ・昔，政治の中心だったから栄えているイメージ。 ・お寺やお坊さんが多い。　・方言 ・昔の偉人がいた場所や造った建物が多い。

①～③は，既習内容であるが正答数が半数以下であった。④の近畿地方におけるイメージでは，歴史的な建造物をあげる生徒が多く，都があったことから政治の中心だったと答えた生徒もおり，歴史的分野で学習した回答が見られた。また，テレビやインターネットなどのマスメディアで得た情報だと考えられる回答も多かった。しかし，鉄道や高速道路などの交通網が発達していることや，阪神工業地帯など地理的分野で学習した回答はなかった。

これらの結果から，地理的分野・歴史的分野とも基礎的・基本的な学力をつけることが必要である。

（２）単元観

本単元は，学習指導要領【地理的分野】の内容「（２）日本の様々な地域」の「ウ日本の諸地域（イ）歴史的背景を中核とした考察」にあたり，「地域の産業，文化の歴史的背景や開発の歴史に関する特色ある事柄を中核として，それを国内外の他地域との結びつきや自然環境などと関連付け，地域の地理的事象の形成や特色に歴史的背景がかかわっていることなどについて考える」ことと示されている。

近畿地方は，平城京・平安京などの古代の都や，大阪・堺・神戸など産業，交通の要地として中世以降発展してきた都市が多く存在する。また，近年，新幹線や高速道路の高速交通，私鉄や市営地下鉄の発展など交通網が整備され，近畿地方の都市は京阪神大都市圏を形成している。奈良・京都は，歴史的景観や文化財が多く残る。これは，ほとんど戦禍に巻き込まれることもなく，現在まで保存，継承された結果である。一方，空襲や震災にあった大阪や神戸は，歴史的景観や文化財は少なく，近代化した都市として発展している。これらの都市の発展には私鉄が大きく関わり，京阪神大都市圏を形成していくうえで，交通網が重要な役割を果たしている。

これらを学習する中で，主題図，分布図，地形図，グラフ，資料映像などの多様な資料に触れることになり，資料の読み取りの過程で，課題や目的に応じて資料を読み取り，それらをまとめる力の育成を図ることができる。また，読み取った内容を基に，地域間を比較したり，既習事項と関連付けたりすることで，地理的に考察する力を育成することができる。

（３）指導観

指導にあたっては，生徒が主体的に学習に取り組み，思考力，判断力，表現力等を育むために言語活動を充実させたい。そのために学習課題に迫るための様々な資料を提示し，「自ら学び自ら考え，主体的に判断する」場面を取り入れた学習展開を考えていく。

本単元では，歴史の中で形づくられた近畿地方の地域的特色を見出させるために，歴史的資料，全国規模と地域規模の地形図や主題図，統計資料やグラフなどを活用して，近畿地方の歴史，自然環境，産業の発展，地域間の結び付き，他地域との結び付きなど，歴史的条件・自然的条件・社会的条件を関連付けて追究させていきたい。

本時については，「京阪神大都市圏がどのようにつくられてきたのか」という課題に対して，知識構成型ジグソー法の手法用いた授業を展開する。「Ａ．近畿地方の歴史」，「Ｂ．近畿地方の地形」，「Ｃ．交通網の発達」の資料を提示し，エキスパート活動とジグソー活動を通して，本時の課題解決に取り組ませる。そして，クロストーク活動を通して再度，課題に向き合わせたい。これらの活動を通して，資料を読み取る力，自ら考え文章でまとめる力，主体的に判断する力などの向上につながり，自分の考えに自信が持てるようになると考える。また，自分の意見をはっきり伝え，傾聴姿勢を心がけ，他者と協力して活動するなど，「人権教育の視点」を持ち，「生徒指導の三機能」が活かされる展開を心がけたい。

２　単元の目標

近畿地方を概観し，産業や文化の歴史的背景や開発の歴史に着目して，それを他地域との結び付きなどと関連付けて考察することを通して，地域の地理的事象の形成や特色が，歴史的背景と深く結びついていることを理解する。

３　単元の評価規準

ア　社会的事象への関心・意欲・態度	イ　社会的な思考・判断・表現	ウ　資料活用の技能	エ　社会的事象についての知識・理解
①京都・奈良に残っている伝統的な文化や歴史的な景観の保存の意義と課題に関心を持っている。 ②近畿地方の地域的特色について意欲的に追究しようとしている。	①京都・奈良に世界から観光客が来る理由を，その歴史的背景から捉えている。 ②大阪市が江戸時代から商業都市として発展し，私鉄によって京阪神大都市圏の形成が進んでいったことを捉えている。	①京阪神大都市圏が発展した理由を歴史的背景・地形図・交通網に関わる資料を読み取ったりまとめたりしている。 ②神戸市などで大規模に行われてきた開発とその問題点を，地図などを使って読み取っている。 ③近畿地方の地域的特色について，前時までに集めた情報もとに白地図やグラフ，表などを活用してまとめている。	①近畿地方の自然環境の特色について，地図などを使って，各地域の特徴的な地形などを捉えている。 ②近畿地方が歴史的先進地域で，それが地域の都市や産業に関連していることを捉えている。

４　本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり

育成したい能力は，①コミュニケーション能力　②論理的・建設的批判能力　③主体性・積極性　④回復力・耐える力　⑤自らへの自信　⑥高い志　の６つである。

協調学習の手法である知識構成型ジグソー法を用いて，課題解決に向けて生徒が主体的に取り組むことで③「主体性・積極性」を育成できると考える。また，仲間と意見をだし考えを深めていく作業を通して①「コミュニケーション能力」を育成できると考える。

５　単元の指導計画（全５時間）

次	学習内容	時数	評価の観点				評　　価	
			関	思	技	知	評価規準〔評価方法〕	資質・能力の評価
1	課題の設定　情報の収集 近畿地方のすがたは，どのように形づくられてきたのか調べよう。 ○「近畿地方の生活の舞台」	1				◎	エ①近畿地方の自然環境の特色について，地図などを使って，各地域の特徴的な地形などを捉えている。 〔行動観察・ワークシート〕	
2	情報の収集 ○「近畿地方の人々の営み」	1				◎	エ②近畿地方が歴史的先進地域で，それが地域の都市や産業に関連していることを捉えている。 〔行動観察・ワークシート〕	

3	情報の収集 ○「古都の成り立ちと現在」	1	○	◎			イ①京都・奈良に世界から観光客が来る理由を，その歴史的背景から捉えている。 〔行動観察・ワークシート〕 ア①京都・奈良に残っている伝統的な文化や歴史的な景観の保存の意義と課題に関心を持っている。 〔行動観察・ワークシート〕	
4	情報の収集　整理・分析 ○「都市と郊外の成り立ち」	1 （本時）		◎	○		イ②大阪市が江戸時代から商業都市として発展し，私鉄によって京阪神大都市圏の形成が進んでいったことを捉えている。 〔行動観察・ワークシート〕 ウ①京阪神大都市圏が発展した理由を歴史的背景・地形図・交通網に関わる資料を読み取ったりまとめたりしている。 〔行動観察・ワークシート〕	①・③
5	情報の収集　整理・分析 ○「現代に開発されたニュータウン」	1	◎		○		ア②近畿地方の地域的特色について意欲的に追究しようとしている。 〔行動観察・ワークシート〕 ウ②神戸市などで大規模に行われてきた開発とその問題点を，地図などを使って読み取っている。 〔行動観察・ワークシート〕	①・③
6	まとめ・表現　振り返り 「近畿地方は産業や文化の歴史的背景と開発の歴史の中で各地域と結びつき現在のように形づくられた。」	1			◎		ウ③近畿地方の地域的特色について，前時までに集めた情報もとに白地図やグラフ，表などを活用してまとめている。	①・②

６　本時の学習指導について

（１）題材名　　「都市と郊外の成り立ち」

（２）本時の目標

○　大阪を中心とした京阪神大都市圏が発展した理由を考え説明することができる。

（３）本時の評価規準

○　大阪を中心とした京阪神大都市圏が発展した理由を，歴史的背景，地理的条件，交通網の発達に着目し，グループ活動や全体交流を通して考えている。

（４）本時の展開

過程	学習活動 （○生徒から引き出したい答え）	指導上の留意点（◇） （◆支援を必要とする生徒への手立て）	評価規準〔観点〕 （評価方法）	資質・能力の評価
導入	１　京阪神大都市圏への興味を引き出す。 **２　本時のめあて（学習課題）を確認する。**	◇大阪を中心とした写真などの資料を使って，本時の内容に興味を持たせる。 ◇「なぜ，大阪や京都，神戸は大都市に発展したのか」と課題を提示する。		
	なぜ，大阪や京都，神戸は大都市に発展したのか説明しよう。			
	・課題に対する予想をワークシートへ記入する。 ○前の時間勉強したように昔から京都や奈良には都があったから。 ○大阪は天下の台所と呼ばれていたように，各地域から物資が集まり昔から栄えていたから。	◆予想が難しい生徒には，前時までの学習を振りかえるように助言する。		

展 開	**３　３つのグループにそれぞれ異なる３つの資料を提示する。（エキスパート活動）** Ａ．近畿地方の歴史 　平城京や平安京などの消費地と天下の台所である大阪とが水運で結ばれていたことを捉える。 ○奈良や京都には，古くから都（平城京，平安京）があった。 ○大阪は城下町として発展し，各藩の蔵屋敷が集まり天下の台所として経済の中心地となった。 ○どの都市も，昔から物資を運搬するための港が整備されていたことが共通している。 ○昔は，河川や海を利用した水運（海運）が中心であったことが共通している。 Ｂ．近畿地方の地形 　大阪を中心に各都市との距離が近く，瀬戸内海や淀川，大和川といった河川で都市と都市がつながっていることを捉える。 ○琵琶湖，淀川，大阪湾の近くに大阪，京都，奈良がある。 ○大阪と京都・奈良は河川で結ばれ，大阪と神戸は大阪湾で結ばれている。 ○中国地方の都市と比べて，大阪，京都，奈良は互いに近い距離にある。 Ｃ．交通網の発達 　鉄道，高速道路の整備によって都市と都市が結ばれていることを捉える。 ○大阪や京都に通勤，通学者が集中している。 ○鉄道を利用すると大阪～京都，奈良の移動時間は，１時間以内である。 ○大阪，京都，奈良は，鉄道や高速道路で互いに結ばれ交通網が整備されている。	◆机間指導を行い，読み取りが難しい生徒には，読み取りの視点を与える。 ◇学習課題に対して重要だと思うところ，関係がありそうなところに線を引かせる。 ◇それぞれの資料から読み取れることで共通することを考えさせる。 ◇グループで資料から読み取った情報を３人で共有し，ジグソー活動で説明する内容をワークシートにまとめる。 ◆グループの全員がワークシートに説明内容を書いているかどうかを互いに確認させる。	相手に自分の考えを積極的に伝えている。 〔思考・判断・表現〕 （行動観察・ワークシート）	①・③

まとめ	**4　グループを再編し，異なる３つの資料を合わせて考察する。（ジグソー活動）** 〈3 都市で共通していること〉 ○昔から人が集まる都や（城下）町であった。 ○昔から河川や海を利用した港が整備され，水運（海運）により物資が集まった。 〈昔と今で共通していること〉 ○昔も今も人や物資が集まる地域 ○互いに近い距離にあること ○交通網（昔：河川，海，今：海，高速道路，線路）が整備され各都市が結ばれている。 ○交通手段（昔：船，今：船，自動車，鉄道）があり，人や物の移動が簡単で便利である。	◇それぞれ，エキスパート活動で話し合った情報を説明しあい，互いの情報を比較して，似ている点（共通点）を見つけるように指示する。 ◇話合いの視点として，次の二つを提示する。 ①3 つの都市で共通している特徴 ②昔と今で共通していること ◇課題に対する答えを白地図へまとめ，説明するように指示する。	３つの資料から読み取れることを踏まえて考えを説明している。 〔思考・判断・表現〕 （ワークシート）	
	5　各グループの考えを交流する。（クロストーク）	◇全グループが順番に，課題に対する考えを説明しあう。その際，お互いの説明に対して，質問や評価をする（納得できる説明であったか）ように指示し，考えを深めさせる。		

期待される生徒の課題への答え

○３つの都市は，奈良，平安時代から，河川などを利用した港が整備されるなど，人や物資があつまりやすい交通の中心であったため，都，城下町として栄えた。現在は，かつての水運以外にも自動車，鉄道によって交通手段が増え，交通網が整備されたことで更に人や物資があつまり，大都市として発展している。

	6　本時のまとめ	◇本時の課題に対する自分の考えをワークシートへ記入させる。		
	7　本時の振り返りと次時の予告を行う。 ○広島市，岡山市，松江市は，河川や海の近くに立地，交通網が発達している。	◇他の地域（中国地方の都市）でも同じことが言えそうかどうかと投げかけ，これまでに学習した地域とつなげていく。		

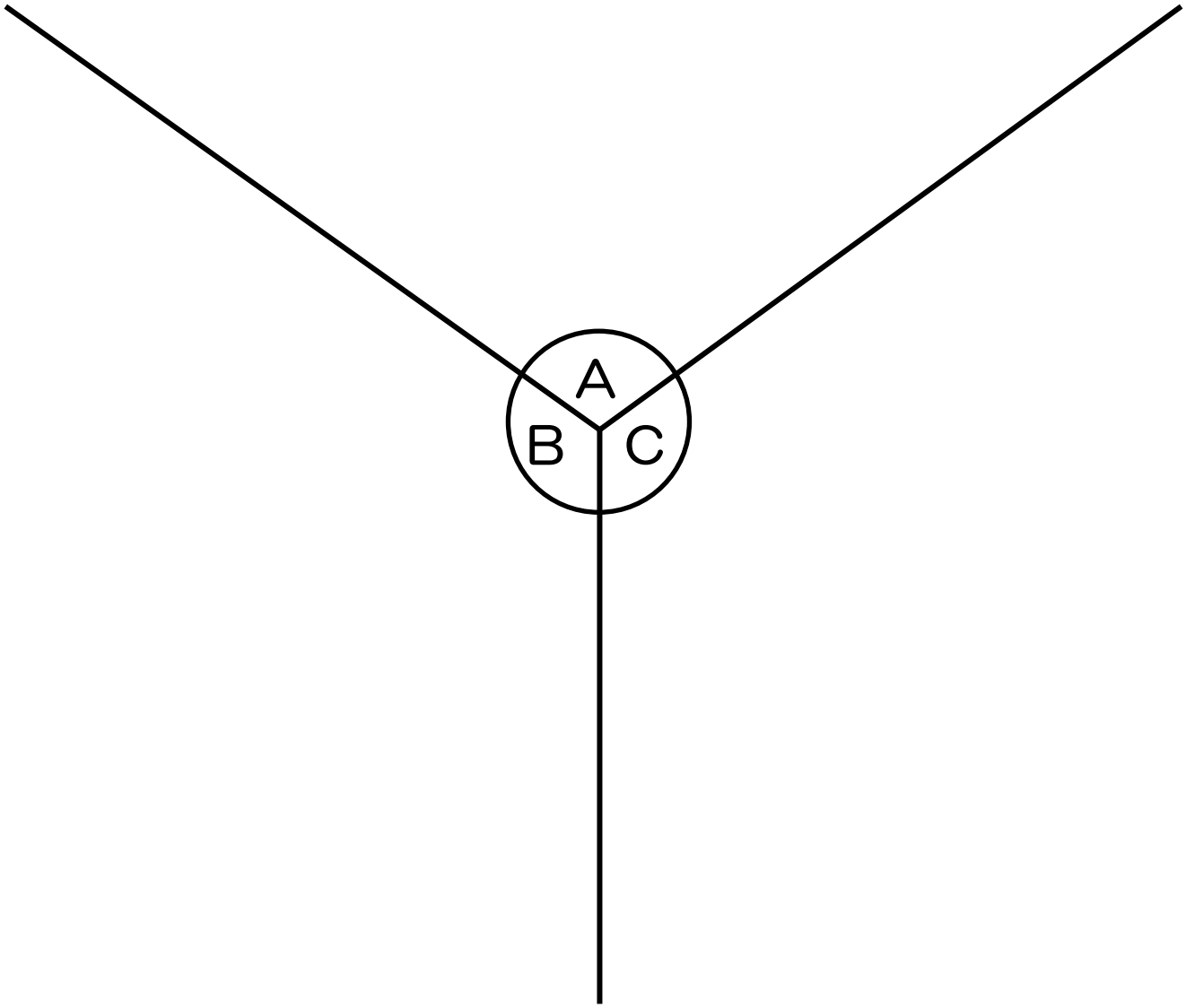
２年Ａ組（　　）番　名前（　　）

都市と郊外の成り立ち

目標：なぜ，大阪や京都，神戸は大都市に発展したのか説明しよう。

Q. なぜ、大阪や京都、神戸は大都市に発展したのか予想しよう。

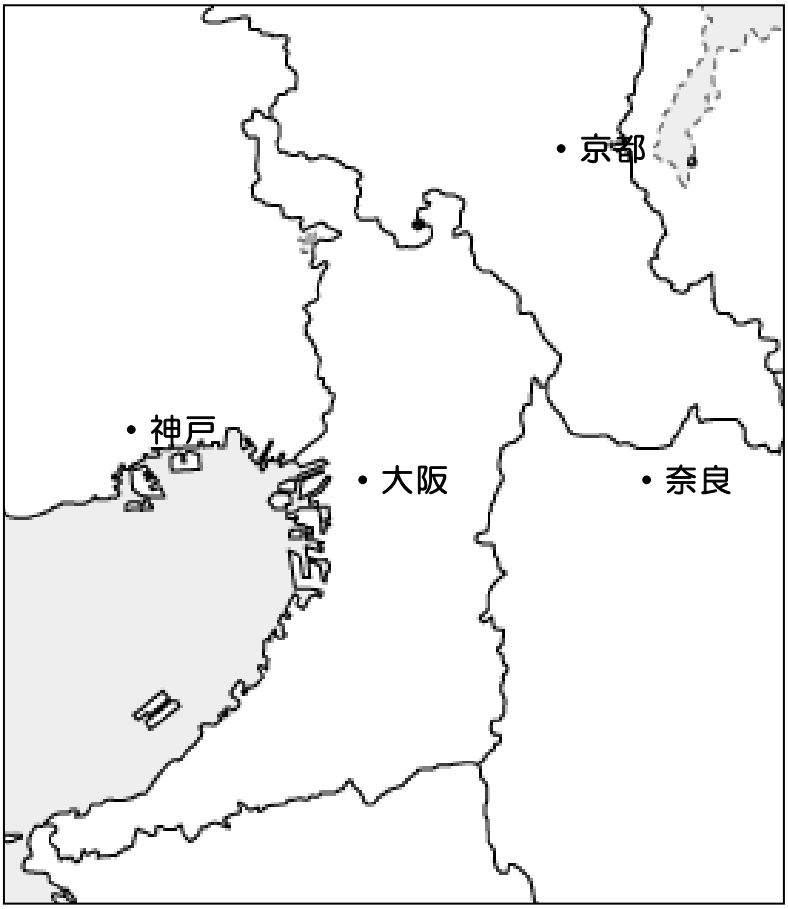
◆エキスパート活動



２年Ａ組（　　）番　名前（　　）

◆ジグソー活動

メモ欄



◆クロストーク（他のグループの発表を聞いて、自分たちの班との違いなどをメモしよう。）

班	
班	
班	
班	
班	

◆まとめ

Q. 京阪神大都市圏がどのように発展してきたのかまとめよう。

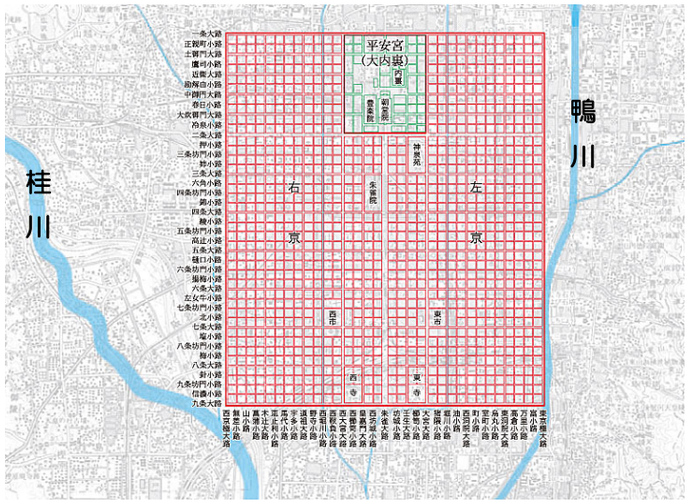
資料：A　「近畿地方の歴史」　　Q. 気になるところ、重要だと思うところ、関係がありそうなところに線を引いていこう。

奈良時代（平城京）

710 年～784 年まで都が置かれた。当時の人口はおよそ 10 万人が生活していた。木材などの物資は、木津川の泉木津（木材供給をした河港のこと）の港から陸路で運搬された。

平安時代（平安京）

794 年、桓武天皇によって長岡京から遷都される。都の東西を流れる鴨川や桂川沿いには、淀津や大井津などの港を整備した。これらの港を全国から物資を集める中継基地にして、そこから都に物資を運び込んだ。



室町時代・安土桃山時代・江戸時代

京都には室町幕府が置かれ、日明貿易で兵庫津（神戸港）や堺が発展していった。安土桃山時代に入ると織田信長や豊臣秀吉が近畿地方に拠点を築いて経済改革を行い、また、大坂城に城下町が形成され、そして特に秀吉が淀川の改修工事を命じた際に、文禄堤（堤防）が建設されたことが大坂と京を結ぶ安定した交通路たる京街道に結実し、これらの結果として経済発展が見られた。

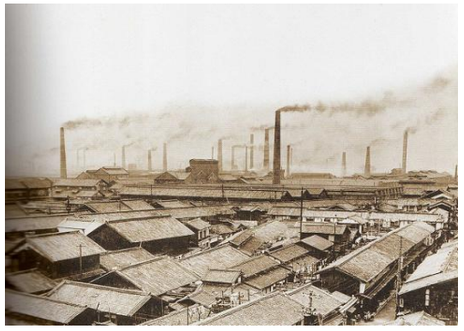
海路では西廻り航路・菱垣廻船・樽廻船が繋がり、陸路では五街道などが整備されて、近江商人が日本各地に分散して上方を日本の物資の集散地および金融の中心地へと変えた。大坂には各藩の**蔵屋敷**が集まり**天下の台所**として日本経済の中心地となった。明治時代は幕末の開国により外国人居留地が置かれた神戸が国際貿易港として発展し、同じく川口居留地（大阪市）が置かれた大阪、そして京都も次第に都市の近代化が進んでいった。

※居留地とは一時的にそこに住むこと。

江戸時代・明治時代・昭和時代

1894 年に起こった日清戦争を機に、大阪は「東洋のマンチェスター」と呼ばれる日本最大の商工業都市に発展し、神戸は東洋最大の港湾都市へ飛躍するなど、日本における文化・経済の中心地となった。神戸港は、かつての都であった奈良や京都と、日本国内の東西航路や大陸との交易の拠点として古くから栄えてきた。また、商業や工業が集まる大阪に近いこともあり、近代以降も国際貿易の拠点として規模を拡大していった結果、1970 年代には阪神工業地帯の輸出港としてコンテナの取扱個数が世界一になるなど世界有数の港として知られていた。（２０１３年では、世界５６位）現在でも、日本を代表する国際貿易港（５大港）のひとつである。

※マンチェスター…イギリスの産業革命の中心的な役割を果たした都市のことである。



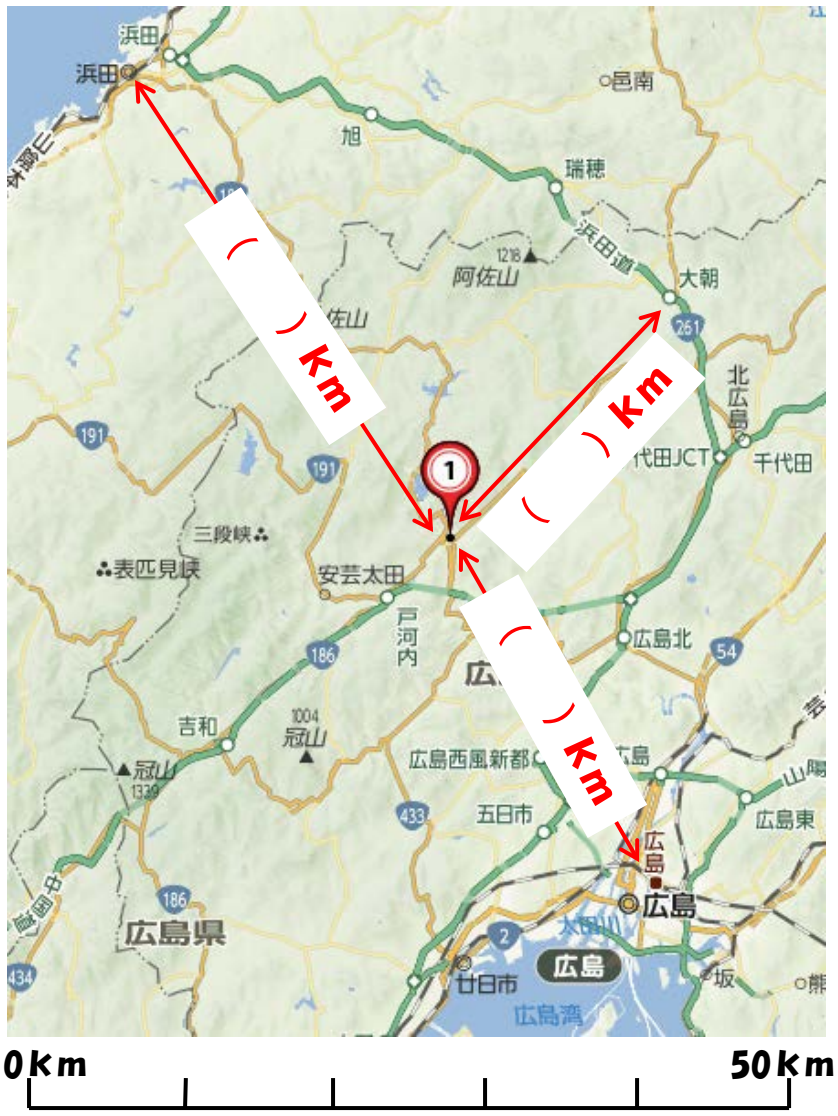
１９２５年の大阪

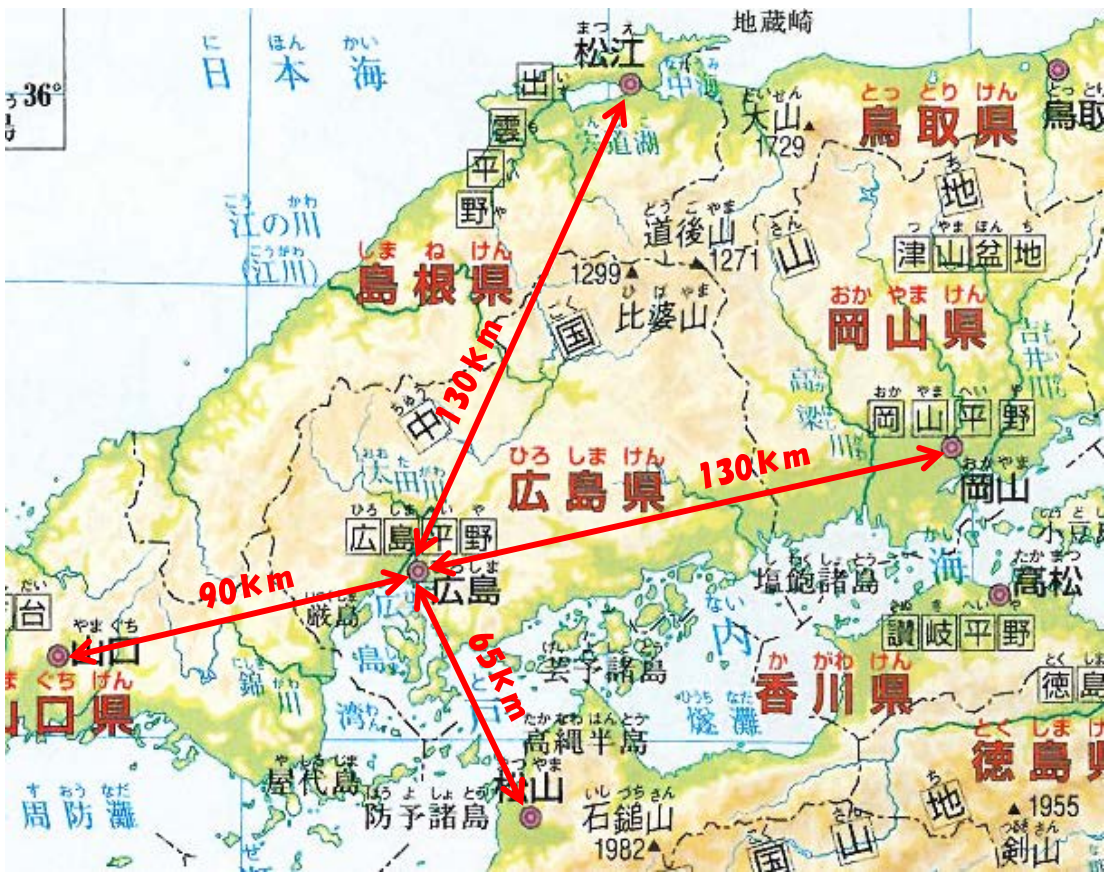
神戸港

コンテナの輸送

資料：B　「近畿地方の地形」

Q. 大阪市を中心に、神戸市・奈良市・京都市のおよその距離を測ってみよう。
Q. 加計中学校を中心に、広島市・北広島町大朝・浜田市のおよその距離を測ってみよう。
Q. 地図を比較してみよう。



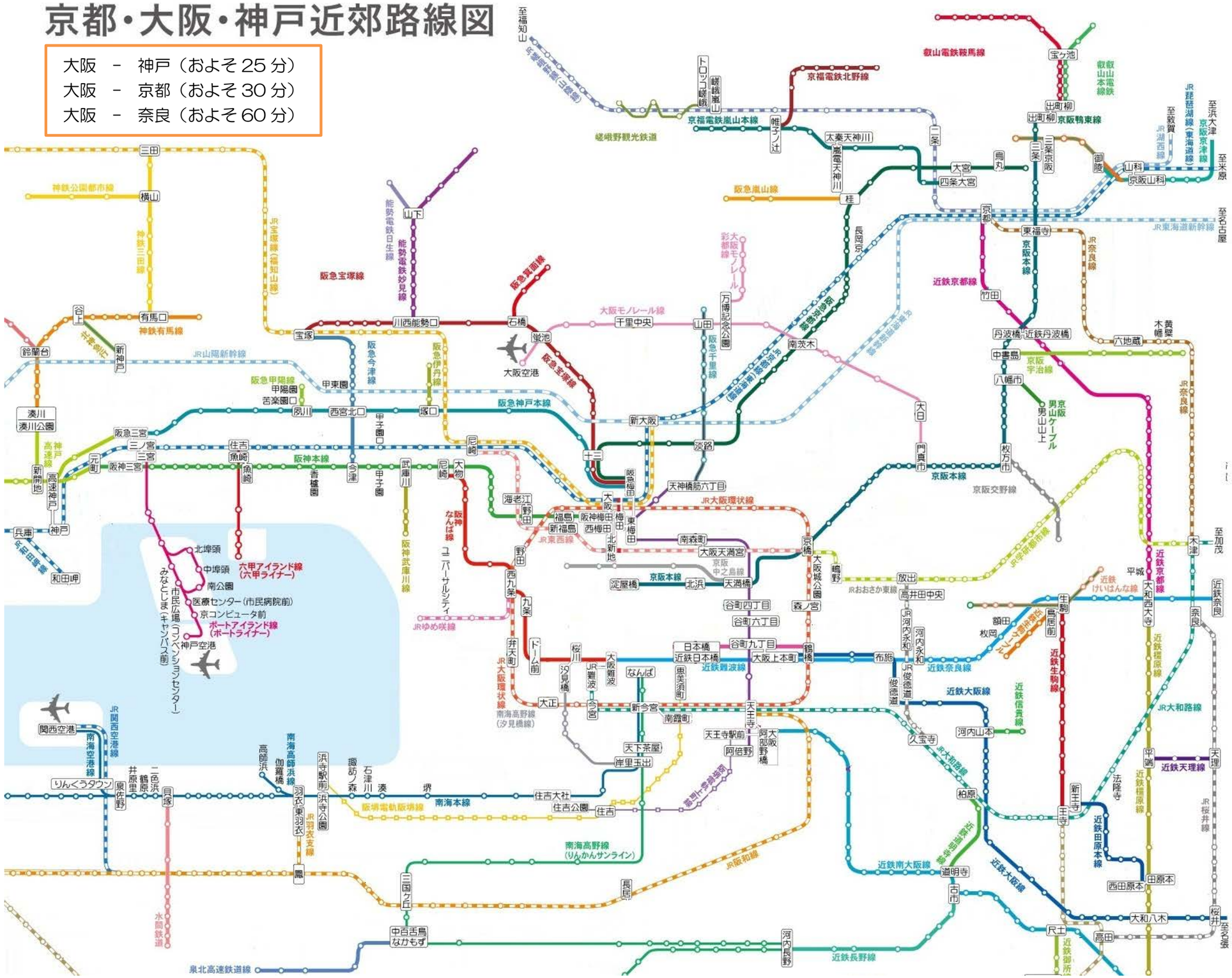


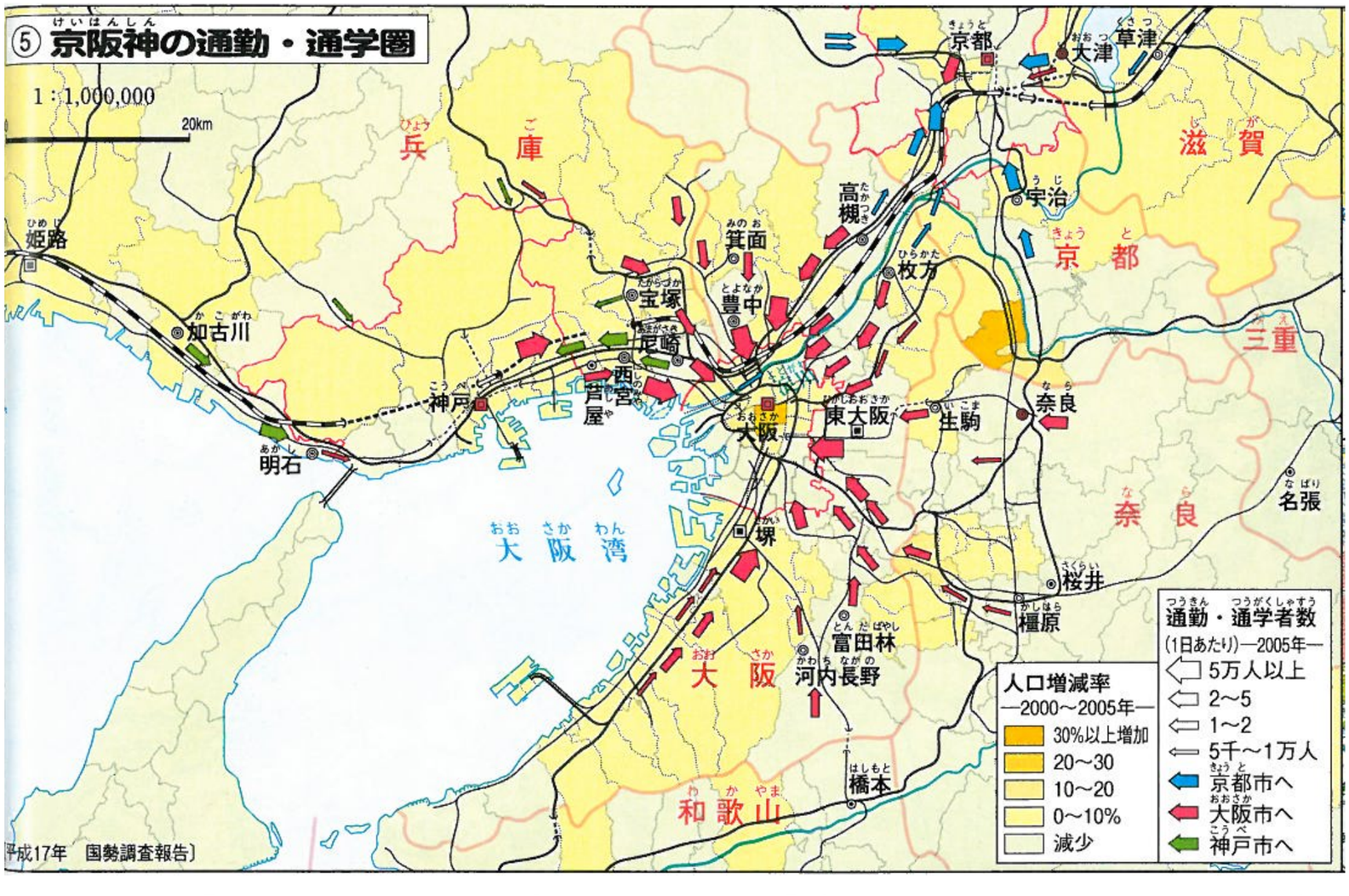
資料：C　「交通網の発達」

Q. 神戸、大阪、奈良、京都をさがして〇をつけよう。

京都・大阪・神戸近郊路線図

大阪　－　神戸（およそ 25 分）
大阪　－　京都（およそ 30 分）
大阪　－　奈良（およそ 60 分）




⑤ 京阪神の通勤・通学圏
1：1,000,000
20km
兵庫
滋賀
京都
三重
奈良
大阪
和歌山
大阪湾
京都
大津
草津
宇治
高槻
枚方
箕面
豊中
宝塚
尼崎
西宮
芦屋
神戸
明石
加古川
姫路
大阪
東大阪
生駒
奈良
名張
桜井
橿原
堺
富田林
河内長野
橋本
人口増減率
—2000～2005年—
30%以上増加
20～30
10～20
0～10%
減少
通勤・通学者数
(1日あたり)—2005年—
5万人以上
2～5
1～2
5千～1万人
京都市へ
大阪市へ
神戸市へ
平成17年　国勢調査報告)

京都府
兵庫県
京都市
神戸市
大阪市
大阪府
奈良市
新名神高速道路
名神自動車道
中国自動車道
阪神高速道路
京都南
大山崎
久御山 JCT
神戸三田
神戸JCT
神戸北
宝塚
吹田
茂木
大阪国際空港
豊中
尼崎
西宮
守口 JCT
門真 JCT
東大阪 JCT
松原 JCT
神戸空港
郡山
天理